

日本馬術連盟制定 国体少年馬場馬術課目

時間 6'00''(参考時間)



競技会名

日付

審判員位置

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	観察所見	着眼点
1.	A 収縮駢歩で入場 X 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10						入場(真直性) 停止(不動) 駢歩から停止と 停止から速歩への移行
2.	C 右手前蹄跡に入る MXK 斜手前変換、中間速歩 K 収縮速歩	10						歩巾の伸展 運歩の整正 移行
3.	A 中央線上に入る L 左へ直径8mの巻乗り	10						真直性 馬体の屈曲、巻乗りの整正
4.	LS 左へハーフパス SHCM 収縮速歩	10						正確と整正、頭頸の態勢と 馬体の屈曲、平衡
5.	MBF 伸長速歩 F 収縮速歩	10						フレームの伸展 歩巾の伸長と運歩の整正 移行
6.	A 中央線上に入る L 右へ直径8mの巻乗り	10						真直性 馬体の屈曲、巻乗りの整正
7.	LR 右へハーフパス M 左へ回転	10						正確と整正、頭頸の態勢と 馬体の屈曲、平衡
8.	G 停止ー5歩後退 直ちに中間常歩で発進	10						停止、後退 移行
9.	GHSI 中間常歩 S 左へ回転	10						歩巾の伸展 運歩の整正
10.	I 収縮常歩 IR間 左へ半ピルーエット	10						移行、運歩の整正 半ピルーエットの整正
11.	IS間 右へ半ピルーエット	10						運歩の整正 半ピルーエットの整正
12.	I(R)(S)IRB 収縮常歩 R 右へ回転	10						歩巾の短縮と運歩の高揚 頭頸の態勢と運歩の整正
13.	BK 斜手前変換、伸長常歩 K 収縮常歩	10			2			移行 頭頸の伸展と歩巾の伸長 運歩の整正
14.	A 左収縮駢歩で発進	10						沈着なる駢歩発進 平衡
15.	FS 斜手前変換、収縮駢歩 S 踏歩変換 SHCMR 収縮駢歩	10						運歩の整正、平衡 踏歩変換
16.	R-EV間 斜手前変換、収縮駢歩 VPB 反対駢歩 VP 左へ直径20mの半輪乗り	10						運歩の整正、平衡 反対駢歩の正しい屈曲 半輪乗りにおける運歩の整正

日本馬術連盟制定 国体少年馬場馬術課目

プログラムNo.	競技者名	所属	馬名	No.				
順序	運動課目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	観察所見	着眼点
17	B 踏歩変換 BRMCHS 収縮駢歩	10						踏歩変換 運歩の整正、平衡
18	S-BP間 斜手前変換、収縮駢歩 PVE 反対駢歩 PV 右へ直径20mの半輪乗り	10						運歩の整正、平衡 反対駢歩の正しい屈曲 半輪乗りにおける運歩の整正
19	E 踏歩変換 ESHCM 収縮駢歩	10						踏歩変換 運歩の整正、平衡
20	MXK 斜手前変換、中間駢歩 K 収縮速歩	10						歩巾の伸展、運歩の整正 平衡、移行
21	A 中央線上に入る X 停止－不動－敬礼	10						真直性、収縮 停止(不動)
手綱を伸ばした常歩でAより退場								
計 総合観察		220						
1. 運歩（自由自在に变じ、かつ整正であること）		10			2			
2. 推進気勢(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀の踏み込みの良さ)		10			2			
3. 従順性(集中性、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、はみ受けと前肢の軽快性)		10			2			
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助		10			2			
合 計		300						
得点から減点すべきもの								
運動の課目の誤りと運動をぬいた場合								
1回目 = 2点減				1回目				
2回目 = 4点減				2回目				
3回目 = 失 権				3回目				
計								

	得 点	%
E審判員		
H審判員		
C審判員		
M審判員		
B審判員		
合計得点		

審判員署名 _____

2007年4月1日改訂